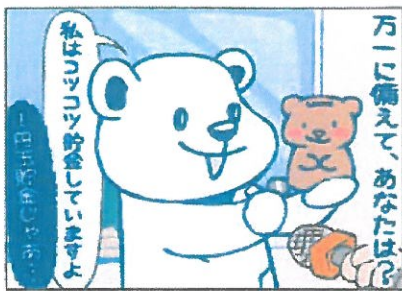


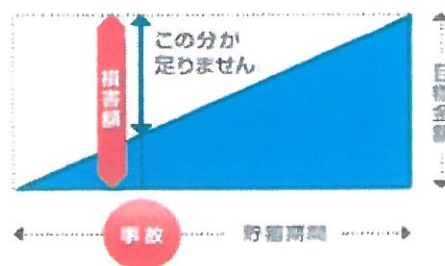
# 保険ってなんだろう

## 保険は四角



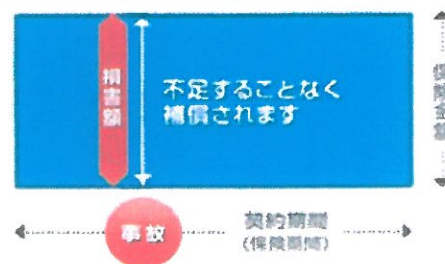
「貯蓄は三角、保険は四角」と言われます。  
それって、どういう意味なのでしょう？

よく、「貯金しているから保険は必要ないよ」とおっしゃる方がいます。確かに将来の出費に備えて貯蓄するのは、とても大切なこと。しかし、事故や災害への備えは、はたして貯蓄だけで十分なのでしょうか？



貯蓄は多くの場合、毎月あるいは毎年、コツコツとお金を積み立ててお金を増やしていきます。年月とともに貯蓄は増え、金額は右肩上がりの「三角形」となります。

もしも十分にお金が貯まった頃に事故や災害が起きるのであれば、貯蓄によって必要な補償をまかなうことは可能です。しかし、**事故や災害はいつ起こるかわかりません。お金を貯めている途中で万一のことが起きた場合、十分な補償ができない可能性があります。**



一方、保険は、加入した直後から契約期間を通して一定した補償を受け取れます。安定した「四角形」です。

これだと貯蓄の有無に関係なく、いつでも十分なお金を用意することができます。特に若い頃には貯蓄額が少ないのが一般的ですから、保険の意味は非常に大きいのです。

これが、「貯金は三角、保険は四角」といわれる理由です。

また、貯蓄は「子どもの学費のために」「マイホーム資金として」など、目的を持って貯める場合が多いはず。そんなお金を万一の際に使うと、ライフプランを大きく変えなければなりません。

けれど**保険に加入していれば、貯蓄には手を付けずに済みます。さらに保険なら、貯蓄ではとてもまかないきれいな巨額の出費にも備えられます。**

**保険に入るということは、「安心を準備する」ということなのです。**

人生に起こり得るさまざまな出来事に対して、貯蓄だけでも、保険だけでも、十分な対応は難しいもの。両方を上手に組み合わせて、より良い人生設計を進めてください。